

## 2. 森の里ぐるっと事業

地域活動事例の最初は森の里ぐるっと事業です。この事業は森の里自治会の合意を得て、地域団体である森の里ふぉーらむが「厚木市市民協働提案事業」として厚木市に提案し、厚木市が支援基準に適合していると判断し、車両の確保に関する経費を3年間に限り負担することで実現しました。その他の運行経費は森の里ふぉーらむから分離独立して設立した(1社)厚木ぐるっとが負担します。4年目からは厚木市から委託された環境整備事業の収益金で自主運営しています。

森の里ぐるっと事業の要は下記の3点に要約できます。

1. 運行経路の各自治会の合意を得ること。
2. 運賃は無料であること
3. 経路は神奈中路線を避けること（公共交通と競合しないこと）

困難なのは（1）です。森の里の場合も困難でしたが、すでに地域活動で森の里ふぉーらむは実績があり、また森の里は5つの自治会で、相互に連携している連合組織なので合意を得ることができました。

地域乗合交通はリスクのある事業です。自治会の合意を得にくく、厚木市には地域乗り合い交通要項の仕組みがあり、支援条件に合えばどの団体でも支援されるのですがこの仕組みができてから支援を受けた団体はありません。

（1）は3年間の車両経費支援を受ける条件、（2）は道路運送法第4条に適合する条件、（3）は地域公共交通をWinWinの関係を保持するための条件です。

（1）の資金調達がクリアできれば（2）と（3）及び安全運行に関しては森の里ぐるっとの仕組みで完成していますので、その仕組みを継承することで実現できます。

森の里ぐるっとの利用者推移

